



みどりの
行事

全国育樹祭記念行事

二〇〇九森林・林業・環境機械展示実演会

全国育樹祭の記念行事となっている「二〇〇九森林・林業・環境機械展示実演会」が一〇月四日と五日にかけて、長崎県島原市の安徳海岸埋立地を会場に開催されました。

林業機械機器メーカー等が一同に会して自慢の最新機械類を展示・実演することで、例年、森林・林業関係者からは高い関心が寄せられる全国育樹祭恒例の関連行事となっており、初日は雲一つない晴天に恵まれたこともあり出足はいたって好調、実演を控えた各展示ブースの前には人だかりができるほど盛況となりました。

社

団法人林業機械化協会（伴次雄会長）が全国育樹祭開催県

と共催する林業機械の展示実演会は一九八一年から開催されており、本年度で二八回目を数える恒例の行事となっています。最近では地球温暖化防止に向けた二酸化炭素の吸収源としての森林の評価が高まり、吸収源対



ロングアーム搭載型トラッククレーンの実演

策として森林の整備等が施策の重要な柱として位置付けられています。昨年世界的な金融危機以降、経済は低迷を続け、国内の住宅業界や



荷台上に圧縮機械が付いたバイオマス対応型フォワーダ

紙パ産業などは苦戦を余儀なくされていますが、国産材は、不況下といえども将来の資源需給の上からも注目を集め、効率的な施業と資源の有効利用という観点から高性能林業機械への関心は高まっています。

展示・実演会に出品された林業機械の中で、とくに本年の特徴的な傾向といえるのは、『ロングアーム』



ハーベスタの実演

と『環境対応型』の製品展開といえます。

ハーベスタ（伐倒造材機）のアーム部分が一〇倍程度に伸びるように工夫された各社の『ロングアーム』を有した機種は、従来の四倍程度のアームに比較して林内作業道からの集材エリアを飛躍的に広げる効果があります。生産性が即コストにはね返る高性能林業機械を使った施業現場では、集材範囲の飛躍的な拡大は作業者にとって魅力的で、『ロングアーム』を持った機械を展示するブースには、関心を持つ見学者が絶えませんでした。

また、『環境対応型』の製品も人



チェーンソーなども海外企業の出品が多く大型の機械は関心を集めています。

気を集めていました。フォワーダ（積載式集材車両）の中には、積載時に荷台が拡張し、元に戻す段階で積載物をコンパクトに圧縮できる機能を有したプロトタイプ（試作機）の出品もあり、本来の丸太集材に加え、枝払いされた枝葉などの森林バイオマスも効率的に林地外に搬出する製品も来場者の関心を集めていました。出展者は「この機械は森林総合研究所と共同で研究した林野庁委託事業の成果で、バイオマス利用の取組の拡大から、今後はこのような環境貢献型のニーズが増えてくると考えています」と説明していました。

本年に入ってから住宅建設が一段

と落ち込む中で、主伐期を迎えつつある国産材は、一方で材価の低迷に見舞われており、コストダウンが図られるこれらの製品に関心が集まっていることもうなずけます。

スイングヤーダなども効率的な集材が可能とあって、機械の実演が始まると回りに人だかりができた。また、国内メーカーと提携している欧州の外国メーカーの参加が近年活発化しており、会場には輸入機械・機器も展示されました。